

私ときのこと

中林 芳輝

平成 28 年 6 月に千葉菌類談話会の会員になりました、群馬県前橋市の中林芳輝と申します。出身地は新潟県三条市です。仕事の関係で前橋市に住んでおります。

私がきのこに興味をもった経緯は、父親がきのこの分類をしていて、5歳の頃から両親と秋になるときのこ狩りに行っていました。きのこ狩りのシーズンになると、実家にきのこの鑑定をしてもらうため多くの人々が来ました。多い時は家の前に順番待ちの列ができました。こんな環境で子供の頃を過ごしました。高校生の時きのこの写真を撮り始めました。きのこの名前は父親に聞いていました。昭和 60 年に前橋営林局現在の関東森林管理局に就職しました。

仕事でらきのこに接する機会も多く職場の人に「きのこ判るんだろ」と良く言われましたが、この頃は全くわかりませんでした。きのこの勉強をしないといけないと思い毎日、日本菌類図鑑を見ました。きのこは、図鑑で見てもわからないと思い、まずは、何からやればいいのかも分からないので、父親にきのこの見方の基礎を教わりました。きのこは、現物を見ないと覚えられないと思い、新潟きのこ同好会に入会しました。現在はきのこ狩りをして美味しいきのこを食べるより、まだ見たことのないきのこを見たくていろいろの同好会に入会しています。



真ん中が私です。

私が現在入会しているきのこ同好会は 6 会です。新潟県や群馬県では、照葉樹林に発生するきのこをなかなか見る事ができないので、千葉菌類談話会に入会させていただきました。どうぞよろしくお願いたします。7月から 11 月までは毎週末どこかの同好会のきのこ観察会に参加しております。14 年前に脳出血をして現在後遺症で、左半身に麻痺があり、山歩きは思うようにできません。一人できのこ観察をする時は、森林公園や都市公園できのこ観察をしています。

こんな、状態ですからきのこ狩りシーズンにはきのこ狩りはできません。きのこシーズンも終わりになる頃ようやく、食用きのこを求めてきのこ狩りで山を少しだけ歩いてみます。